

第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

事業名	総合体育館トレーニング機器導入事業				事業期間	平成 30 年度 ~ 平成 30 年度						所管課係	スポーツ振興課振興係	
事業性質区分	新規・継続	新規	建設・建設外	建設外	第6期総合計画の位置付け	3-4-1	他に関連する基本事業	-	-	-	-	-	-	
目的 (何のために実施するのか)	体育施設の整備充実に努めることにより、誰もがスポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境を整える。						手段 (どのような方法で実現するのか)		総合体育館へのトレーニング機器配置。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	総合体育館トレーニング機器及びその利用者。						成果 (どのような効果が得られるのか)		市民の健康増進、運動機会の増加が図られ、総合体育館の利用促進につながる。					
事業開始時の状況・これまでの経緯 (行革内容含む)	過去、総合体育館ではトレーニング室を備え各種トレーニング機器を市民に開放していたが、行革などの影響により老朽化や故障した機器の更新等を実施することができない状況であったことから撤去し、現在はトレーニング機器を設置していない。 最近、健康増進への関心の高まりもあり、総合体育館へのトレーニング機器の再設置について要望が寄せられている。 トレーニング機器は競技力向上、運動不足解消、生活習慣病・介護予防など利用者各自が年齢、体力、目的に合わせて利用でき、スポーツ活動拠点としての総合体育館の機能強化・利用促進につながるものである。													

【DO】

実績

(単位：円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期 総合計画 計		
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計	
投 入 さ れ た 事 業 費 の 推 移	国 費	計 画 額				0				0					0	0
		予 算 計 上 額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費	計 画 額				0				0					0	0
		予 算 計 上 額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債	計 画 額				0				0					0	0
		予 算 計 上 額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	そ の 他	計 画 額				0				0					0	0
		予 算 計 上 額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	一 般 財 源	計 画 額				0				0	0	18,381,000	0	0	18,381,000	18,381,000
		予 算 計 上 額				0				0	0	0	0	0	0	0
		実 績 額				0				0	0	0	0	0	0	0
	事 業 費 合 計	計 画 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,381,000	0	0	18,381,000	18,381,000
		予 算 計 上 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		実 績 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業費予算の内容										スポーツ推進計画策定作業の中で市民ニーズの把握を行うとともに、機器設置後の指導・相談体制の検討を進める必要があった。						
前年度予算との比較 (増減理由)																
実績との比較 (増減理由)													新型コロナウイルス感染症のため中止とした競技団体があったため			

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：工事箇所、改修工事費						指標の求め方：							
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：トレーニング機器利用人数						指標の求め方：							
指標	活動指標 1 (単位/千円)	計画値									18,381	0	0		
		実績値									0	0	0		
指標	成果指標 1 (単位/人/延)	計画値									3,000	3,000	3,000		
		実績値									0	0	0		
事業評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)														あまり達成されていない
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)														変わらない
	事業の効率性 (事業費に対する成果)														変わらない
	総合評価														普通である
事業評価	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析： トレーニング機器を導入するだけでなく、インストラクターによる健康管理講習など、トレーニング機器を使った事業を整備することで体育館利用人数を伸ばすことができると考える。連携事業を具体的にし、第7期総合計画に組み込んでいきたい。	自己分析： 連携事業を具体的にし、令和2年度に砂川市スポーツ推進計画を策定し、トレーニンググループ設置時の連携事業を具体的にした。また地域おこし協力隊の制度も活用し、健康増進事業の一環として第7期総合計画に組み込んでいきたい。	自己分析： 令和2年度に砂川市スポーツ推進計画を策定し、トレーニンググループ設置時の連携事業を具体的にした。また地域おこし協力隊の制度も活用し、健康増進事業の一環として第7期総合計画に組み込んでいきたい。	判断理由： 利用者からもトレーニング機器の導入を求める声が多く、一定のニーズがあると考えている。トレーニング機器を導入するだけでなく、インストラクターによる健康管理講習など、トレーニング機器を使った事業を整備することで体育館利用人数を伸ばすことができると考える。連携事業を具体的にし、第7期総合計画に組み	
	今後の方向性														拡大
方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)		H25：				H28：				H30：利用者からもトレーニング機器の導入を求める声が多く、一定のニーズがあると考えている。連携事業を具体的にし、第7期総合計画に組み込み、予算計上を行いたい。					

**第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書**

**【PLAN】**

**事務事業の目的と成果**

事業名	<b>市営テニスコート改修事業</b>				事業期間	平成 32 年度 ~ 平成 32 年度									
事業性質区分	新規・継続	新規	建設・建設外	建設外	第6期総合計画の位置付け	3-4-1	他に関連する基本事業	-	-	-	-	-	所管課係	スポーツ振興課振興係	
目的 (何のために実施するのか)	体育施設の整備充実に努めることにより、誰もがスポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境を整える。						手段 (どのような方法で実現するのか)		市営テニスコートの改修工事を行う。						
対象 (誰・何を対象としているのか)	市営テニスコート及びその利用者。						成果 (どのような効果が得られるのか)		施設の長寿命化が図られ、効果的な維持管理ができるとともに、継続的な利用につながる。						
事業開始時の状況・これまでの経緯 (行革内容含む)	平成9年に供用開始した市営テニスコートは砂入り人工芝の採用やナイター照明の設置など設備が充実していることから、各種大会の開催も多く稼働の高い屋外体育施設となっている。供用開始から相応の年数が経過しており、砂入り人工芝の経年劣化、照明設備については経年劣化とともに水銀灯製造中止が予定されていることから改修を実施する必要がある。														

**【DO】**

**実績**

(単位：円)

	第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期総合計画計		
	第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計	
投 入 さ れ た 事 業 費 の 推 移	国 費	計画額			0			0					0	0	
		予算計上額			0			0						0	0
		実績額			0			0						0	0
	道 費	計画額			0			0						0	0
		予算計上額			0			0						0	0
		実績額			0			0						0	0
	地 方 債	計画額			0			0						0	0
		予算計上額			0			0				5,700,000	189,200,000	194,900,000	194,900,000
		実績額			0			0				5,400,000	180,600,000	186,000,000	186,000,000
	そ の 他	計画額			0			0					50,000,000	50,000,000	50,000,000
		予算計上額			0			0					40,574,000	40,574,000	40,574,000
		実績額			0			0					40,574,000	40,574,000	40,574,000
	一 般 財 源	計画額			0			0			0	0	91,768,000	91,768,000	91,768,000
		予算計上額			0			0			0	0	75,000	26,000	101,000
		実績額			0			0			0	78,000	3,000	81,000	81,000
	事 業 費 合 計	計画額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	141,768,000	141,768,000	141,768,000
		予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,775,000	229,800,000	235,575,000	235,575,000
		実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,478,000	221,177,000	226,655,000	226,655,000
事業費予算の内容											来年度の改修工事の実施に要する、設計業務の委託料	市営テニスコート改修工事委託料			
前年度予算との比較 (増減理由)											委託料の発生による増	改修工事による委託料の発生による増			
実績との比較 (増減理由)											入札による減	新型コロナウイルス感染症のため中止とした競技団体があったため			

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：工事箇所、改修工事費				指標の求め方：																
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：利用人数				指標の求め方：																
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/千円)	計画値															141,768				
			実績値																221,177			
	成果指標 1 (単位/人/延)	計画値																	23,000			
		実績値																	0			
	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)																				ほぼ達成されている	
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)																					変わらない
	事業の効率性 (事業費に対する成果)																					変わらない
	総合評価																					良好である
	評価内容		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	判断理由：
	今後の方向性																					完了
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (H25、H28、H30)		H25：					H28：					H30：土木課や業者との打ち合わせの下、次年度以降に実施設計を行い、平成32年度以降の着工を目指している。										

## 第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

### 【PLAN】

#### 事務事業の目的と成果

事業名	体育協会活動支援事業				事業期間	— 年度 ~ — 年度						所管課係	スポーツ振興課振興係		
事業性区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画の位置付け	3-4-2	他に関連する基本事業	—	—	—	—	—	—	—	
目的 (何のために実施するのか)	市民の自主的な体育活動を支援することにより、砂川市における各種スポーツ活動を普及させる。							手段 (どのような方法で実現するのか)	砂川市体育協会及び、砂川市体育協会加盟団体の少年団に補助金を交付する。						
対象 (誰・何を対象としているのか)	砂川市体育協会及び加盟団体							成果 (どのような効果が得られるのか)	体育団体の運営が維持されるとともに、自主的なスポーツ団体活動を助長させる。						
事業開始時の状況・これまでの経緯 (行革内容含む)	行財政改革により、平成20年度から1割削減する団体補助の見直しが図られている。														

### 【DO】

#### 実績

(単位：円)

	国	道	地方債	その他	一般財源	第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期総合計画		
						第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計	
投入された事業費の推移	費	計	画	額				0									0	0		
			予	算	計	上	額				0							0	0	
			実	績	額				0									0	0	
	費	計	画	額				0										0	0	
			予	算	計	上	額				0							0	0	
			実	績	額				0									0	0	
	地方債	計	画	額				0										0	0	
			予	算	計	上	額				0							0	0	
			実	績	額				0									0	0	
	その他	計	画	額				0										0	0	
			予	算	計	上	額				0							0	0	
			実	績	額				0									0	0	
	一般財源	計	画	額	386,000	386,000	386,000	1,158,000	368,000	386,000	386,000	1,140,000	386,000	386,000	386,000	386,000	1,544,000	3,842,000		
			予	算	計	上	額	386,000	386,000	386,000	1,158,000	368,000	368,000	368,000	1,104,000	368,000	368,000	368,000	1,472,000	3,734,000
			実	績	額	386,000	379,400	368,000	1,133,400	365,600	372,200	353,400	1,091,200	360,600	360,000	356,400	338,400	1,415,400	3,640,000	
	事業費合計	計	画	額	386,000	386,000	386,000	1,158,000	368,000	386,000	386,000	1,140,000	386,000	386,000	386,000	386,000	1,544,000	3,842,000		
			予	算	計	上	額	386,000	386,000	386,000	1,158,000	368,000	368,000	368,000	1,104,000	368,000	368,000	368,000	1,472,000	3,734,000
			実	績	額	386,000	379,400	368,000	1,133,400	365,600	372,200	353,400	1,091,200	360,600	360,000	356,400	338,400	1,415,400	3,640,000	
事業費予算の内容	体育協会補助金	183,000円	183,000円	183,000円	549,000円	183,000円	183,000円	183,000円	549,000円	183,000円	183,000円	183,000円	183,000円	183,000円	549,000円	1,740,000円				
	スポーツ少年団育成補助金	203,000円	203,000円	203,000円	609,000円	203,000円	203,000円	203,000円	609,000円	203,000円	203,000円	203,000円	203,000円	203,000円	609,000円	1,812,000円				
	※2次実施計画額計上 額り、正しくは 368,000円																			
前年度予算との比較 (増減理由)	同額	前年度同額	前年度同額	前年度同額	前年度実績額	前年度同額	前年度同額	前年度同額	前年度同額	前年度同額	前年度同額	前年度同額	前年度同額	前年度同額	前年度同額					
実績との比較 (増減理由)	同額	スポーツ少年団員の減少により減額	スポーツ少年団員の減少により減額		スポーツ少年団員の減少により減額	スポーツ少年団員の増加により増額	スポーツ少年団員の減少により減額		スポーツ少年団員の減少により減額	スポーツ少年団員の減少により減額	スポーツ少年団員の減少により減額	スポーツ少年団員の減少により減額	新型コロナウイルス感染症のため中止とした競技団体があったため							

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：補助金額				指標の求め方：体育協会補助金									
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：登録団体数				指標の求め方：体育協会登録団体数									
活動指標 2		指標名：補助金額				指標の求め方：スポーツ少年団補助金									
成果指標 2		指標名：登録人数				指標の求め方：スポーツ少年団登録人数									
指標	活動指標 1 (単位/円)	計画値	183,000	183,000	183,000	183,000	183,000	183,000	183,000	183,000	183,000	183,000	183,000	183,000	
		実績値	183,000	183,000	183,000	183,000	183,000	183,000	183,000	183,000	183,000	183,000	183,000	183,000	
指標	成果指標 1 (単位/団体)	計画値	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	
		実績値	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	
指標	活動指標 2 (単位/円)	計画値	203,000	203,000	203,000	185,000	185,000	185,000	203,000	203,000	203,000	203,000	203,000	203,000	
		実績値	203,000	196,400	185,000	182,600	189,200	170,400	177,600	177,000	173,400	155,400	155,400	155,400	
指標	成果指標 2 (単位/人)	計画値	228	228	228	228	228	228	228	228	228	228	228	228	
		実績値	243	223	206	207	209	191	197	194	187	161	161	161	
事業	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)	達成されている	ほぼ達成されている	ほぼ達成されている	ほぼ達成されている				ほぼ達成されている					ほぼ達成されている	
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)	変わらない	変わらない	変わらない	変わらない				変わらない					変わらない	
	事業の効率性 (事業費に対する成果)	少し上がっている	変わらない	変わらない	変わらない				変わらない					変わらない	
	総合評価				普通である				良好である					良好である	
事業	評価内容	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：市民の自主的な体育活動を促進し、地域に密着したスポーツ活動（市民体育祭等）の普及が図られている。	自己分析：平成24年度から柔道連盟の活動休止に伴い同少年団の活動も休止しているが、他の少年団の活動を見る限り地域に密着したスポーツ活動が図られていると判断した。	自己分析：平成24年度から柔道連盟の活動休止に伴い同少年団の活動も休止しているが、他の少年団の活動を見る限り地域に密着したスポーツ活動が図られていると判断した。	判断理由：団体数及び人数が多少減少しているが、地域に密着したスポーツ活動の普及が図られていると判断したため。	自己分析：平成24年度から柔道連盟の活動休止に伴い同少年団の活動も休止しているが、他の少年団の活動を見る限り地域に密着したスポーツ活動が図られていると判断した。	自己分析：少年団の登録人数はここ数年横ばいの状態であるが、地域に密着したスポーツ活動の推進に大きな役割を果たしているものと考ええる。	自己分析：少年団の登録人数はここ数年横ばいの状態であるが、地域に密着したスポーツ活動の推進に大きな役割を果たしているものと考ええる。	判断理由：地域に密着したスポーツ活動の推進に大きな役割を果たしているものと考ええる。	自己分析：少年団の登録人数はここ数年横ばいの状態であるが、地域に密着したスポーツ活動の推進に大きな役割を果たしているものと考ええる。	自己分析：少年団の登録人数はここ数年横ばいの状態であるが、地域に密着したスポーツ活動の推進に大きな役割を果たしているものと考ええる。	自己分析：少年団の登録人数はここ数年横ばいの状態であるが、地域に密着したスポーツ活動の推進に大きな役割を果たしているものと考ええる。	自己分析：新型コロナウイルス感染症の影響を受け、活動が停滞し、新規加入者が減少しているが、引き続き地域に密着したスポーツ活動の推進のため、支援は継続する必要があると考える。	判断理由：少年団の登録人数はほぼ横ばい状態であるが、事業はほぼ現状のまま継続できており、地域のスポーツ活動の推進に大きな役割を果たしているものと考ええる。
		今後の方向性	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続				現状のまま継続					現状のまま継続
方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)		H25：登録団体の増加を図る活動を展開することで活動及び成果ともに上がるものと考えられることから、このまま継続して助成することで安定した活動ができるものと考ええる。				H28：地域に密着したスポーツ活動の推進に大きな役割を果たしているものと考えられることから、活動を支えるために継続した助成、連携が必要である。				H30：地域に密着したスポーツ活動の推進に大きな役割を果たしているものと考えられることから、活動を支えるために継続した助成、連携が必要である。					

## 第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

### 【PLAN】

#### 事務事業の目的と成果

事業名	体育振興及び指導事業				事業期間	— 年度 ~ — 年度					所管課係	スポーツ振興課振興係	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画の位置付け	3-4-2	他に関連する基本事業	—	—	—	—	—	
目的 (何のために実施するのか)	体育の指導活動の活性化を図り、スポーツ活動を通じ、市民の健康を保持・増進させる。						手段 (どのような方法で実現するのか)	スポーツ推進委員の会議を開催し、年間事業について検証するとともに、体育館の有効利用についても意見を交換する。また、外部講師を招き、スポーツに対して関心を持てるような事業、又はスポーツの基礎を学べる事業を展開する。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	市民						成果 (どのような効果が得られるのか)	市民が生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに親しみ、サークル活動等を通して健康づくり、余暇の充実を図ることができるようになる。また、体育施設の有効利用を図ることができる。					
事業開始時の状況・これまでの経緯 (行革内容含む)	スポーツ推進委員を選任し、体育指導を行うとともに、外部講師を招き、各種事業を開催している。												

### 【DO】

#### 実績

(単位：円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期 総合計 合計		
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計	
投入 された 事業 費の 推移	国費	計画額			0				0					0	0	
		実績額			0				0					0	0	
	道費	計画額			0				0					0	0	
		実績額			0				0					0	0	
	地方債	計画額			0				0					0	0	
		実績額			0				0					0	0	
	その他	計画額			0				0					0	0	
		実績額			0				0					0	0	
	一般財源	計画額	66,000	66,000	66,000	198,000	82,000	76,000	76,000	234,000	121,000	121,000	121,000	121,000	484,000	916,000
		予算計上額	66,000	60,000	80,000	206,000	82,000	76,000	121,000	279,000	157,000	126,000	126,000	126,000	535,000	1,020,000
		実績額	41,000	49,000	60,000	150,000	76,720	44,861	84,672	206,253	101,516	77,400	65,400	62,700	307,016	663,269
	事業費合計	計画額	66,000	66,000	66,000	198,000	82,000	76,000	76,000	234,000	121,000	121,000	121,000	121,000	484,000	916,000
	予算計上額	66,000	60,000	80,000	206,000	82,000	76,000	121,000	279,000	157,000	126,000	126,000	126,000	535,000	1,020,000	
	実績額	41,000	49,000	60,000	150,000	76,720	44,861	84,672	206,253	101,516	77,400	65,400	62,700	307,016	663,269	
事業費予算の内容		指導報償	指導報償	指導報償		指導報償	指導報償	指導報償		指導報償	指導報償	指導報償	指導報償			
前年度予算との比較 (増減理由)		指導報償額が値上がりしたため	スポーツ推進委員の出席が増えたため	ノルディックウォーキング事業における指導報償額が増えたため		ノルディックウォーキング事業における指導報償額が増えたため	ノルディックウォーキング事業における指導報償額が減ったため	親子わいわいスポーツランド事業の開催数増を予定しているため		持ち回り開催となる9市町スポーツ推進委員研修会指導報償が増えたため	持ち回り開催となる9市町スポーツ推進委員研修会指導報償が減ったため	前年度同額	前年度同額			
実績との比較 (増減理由)		出席者の減	出席者の増	事業費の増		出席者の減	予定事業の開催数減	想定より講師数が少なくなった事業があった。		想定より講師数や報酬額が少なくなった事業があった。	想定より講師数や報酬額が少なくなった事業があった。	雨天中止のため、想定より講師数や報酬額が少なくなった事業があった。	新型コロナウイルス感染症のため中止とした競技団体があったため			

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：事業数				指標の求め方：市教委主催の事業数									
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：事業参加人数				指標の求め方：参加延人数									
指標	活動指標 1 (単位/件)	計画値	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
		実績値	4	7	3		3	3	5		5	5	4	4	
指標	成果指標 1 (単位/人/延)	計画値	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120		
		実績値	51	66	81		77	45	65		76	63	71	65	
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)	達成されている	達成されている	達成されている	ほぼ達成されている				ほぼ達成されている					ほぼ達成されている	
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)	あまり上がっていない	あまり上がっていない	上がっている	あまり上がっていない				変わらない					変わらない	
	事業の効率性 (事業費に対する成果)	あまり上がっていない	あまり上がっていない	上がっている	あまり上がっていない				変わらない					変わらない	
	総合評価			現状のまま継続	普通である				普通である					普通である	
評価内容	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：事業数は確定できたものの参加者数が減少しているため集客方法や事業内容の見直しが必要である。	自己分析：参加者が少し増えたが、集客方法や事業内容の見直しを少しずつ加える必要がある。	自己分析：事業の見直しを徐々に図り参加者が増えてきている。	判断理由：事業への参加者数が計画値より低いが増加傾向にあることを考慮した。また、集客方法や事業内容の見直しを少しずつ加えていることから判断した。	自己分析：参加者数は横ばいであり、集客方法や事業内容の見直しを継続する必要がある。	自己分析：参加者数は横ばいであるが（荒天により歩くスキー教室事業中止）、定着してきている事業もある。周知方法や事業内容の検討を継続する必要がある。	自己分析：参加者数は横ばいであるが、定着してきている事業もある。周知方法や事業内容の検討も継続しておく必要がある。	判断理由：参加者数は横ばいであるが、市民に定着してきている事業もある。より多くの参加が得られるよう周知方法や事業内容の検討も継続しておこなっている。	自己分析：参加者数は横ばいである。定着してきている事業もあるが、市民のニーズに併せた事業内容の検討を進める必要がある。	自己分析：参加者数はほぼ横ばいである。定着してきている事業もあるが、計画値に参加延べ人数が達しない状態が続いている。市民への周知方法や、活動内容の見直しが必要である。	自己分析：ポスター掲示や、ホームページでの周知等を増やし、多くの市民の目に触れるよう工夫した。雨天で中止した事業もあるが、個別の参加者数は増加している。	自己分析：新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった事業があるが、開催した事業については概ね例年通りの参加者が集まっている。	判断理由：計画値に達していないものの、参加者数は例年ほぼ同じくらいで推移している。天候に左右される事業も多いため、成果は一概に判断できないが、周知の方法を増やしており、新規の参加者も増えている。	
今後の方向性	手段の見直し	手段の見直し	現状のまま継続	手段の見直し				現状のまま継続					現状のまま継続		
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：上記判断理由のとおり、集客方法や事業内容の見直しにより継続可能な事業と考える。				H28：参加者数は横ばいであるが、市民に定着してきている事業もある。より多くの参加が得られるよう周知方法や事業内容の検討を継続する。				H30：参加者数はほぼ横ばいである。定着してきている事業もあるが、計画値に参加延べ人数が達しない状態が続いている。市民への周知方法や、活動内容の見直しが必要である。						



## 第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

### 【PLAN】

#### 事務事業の目的と成果

<b>事業名</b>		<b>海洋スポーツ振興事業</b>				<b>事業期間</b>	昭和 52 年度 ～ 年度					<b>所管課係</b>	スポーツ振興課振興係
<b>事業性質区分</b>	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画の位置付け	3-4-2	他に関連する基本事業	-	-	-	-	-	-
<b>目的</b> (何のために実施するのか)	施設を開放し、海洋スポーツの普及と市民の体力づくりを推進する。						<b>手段</b> (どのような方法で実現するのか)	平日は団体利用(申込必要)とし、土・日曜日は一般開放する。また、常時、指導員を配置し、利用者を指導する。					
<b>対象</b> (誰・何を対象としているのか)	市民及び小中高生の体験学習						<b>成果</b> (どのような効果が得られるのか)	いつでも安心して利用できるため、利用が促進される。					
<b>事業開始時の状況・これまでの経緯</b> (行革内容含む)		昭和52年、北光公園内にB&G財団の補助を受け艇庫を開設し、指導員を配置して海洋スポーツが内陸でも楽しめる場として開放している。											

### 【DO】

#### 実績

(単位:円)

投入された事業費の推移	国費 道費 地方債 その他	費 計 画 額 予 算 計 上 額 実 績 額	第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期 総合 計画 計	
			第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合 計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合 計
			計 画 額	計 画 額	計 画 額	計 画 額	計 画 額	計 画 額	計 画 額	計 画 額	計 画 額	計 画 額	計 画 額	計 画 額		計 画 額
事業費	一般財源	計 画 額	1,570,000	933,000	933,000	3,436,000	226,000	600,000	1,226,000	2,052,000	658,000	1,330,000	658,000	658,000	3,304,000	8,792,000
		予 算 計 上 額	1,570,000	616,000	933,000	3,119,000	226,000	526,000	658,000	1,410,000	1,352,000	723,000	577,000	697,000	3,349,000	7,878,000
		実 績 額	1,218,532	551,555	908,914	2,679,001	196,197	750,145	476,553	1,422,895	955,254	591,115	463,330	170,753	2,180,452	6,282,348
	事業費合計	計 画 額	1,570,000	933,000	933,000	3,436,000	226,000	600,000	1,226,000	2,052,000	658,000	1,330,000	658,000	658,000	3,304,000	8,792,000
		予 算 計 上 額	1,570,000	616,000	933,000	3,119,000	226,000	526,000	658,000	1,410,000	1,352,000	723,000	577,000	697,000	3,349,000	7,878,000
		実 績 額	1,218,532	551,555	908,914	2,679,001	196,197	750,145	476,553	1,422,895	955,254	591,115	463,330	170,753	2,180,452	6,282,348
	事業費予算の内容	指導報償 旅費 需用費 研修費	指導報償 旅費 需用費	指導報償 旅費 需用費 研修費		指導報償 旅費 需用費	指導報償 旅費 需用費 車借上料	指導報償 旅費 需用費 車借上料		指導報償 旅費 需用費 車借上料 備品購入費	指導報償 旅費 需用費 車借上料	指導報償 旅費 需用費 車借上料	指導報償 旅費 需用費 車借上料			
		前年度予算との比較 (増減理由)	アドバンスト資格取得(研修費)の増	アドバンスト資格取得(研修費)の減	アドバンスト資格取得(研修費)の増		アドバンスト資格取得(研修費)の減	車借上料の増	旅費の増		B&Gスポーツ交流交歓会開催に係る需用費の増、備品購入費の増	B&Gスポーツ交流交歓会開催に係る需用費、備品購入費の減	B&Gスポーツ交流交歓会開催に係る需用費、備品購入費の減	B&Gスポーツ交流交歓会開催に係る車借上料の増		
		実績との比較 (増減理由)	指導報償の減	指導報償の減	指導報償の減		指導報償の減	旅費の増	指導報償、旅費、車借上料の減		指導報償、車借上料、備品購入費の減	指導報償、旅費、備品購入費の減	指導報償、旅費の減	新型コロナウイルス感染症のため中止とした競技団体があったため		

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：海洋センター艇庫開放日数				指標の求め方：5月上旬から10月上旬までの毎週月、土曜日を除く艇庫の開放日										
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：利用人数				指標の求め方：利用延人数										
指標	活動指標 1 (単位/日)	計画値	90	90	90		90	90	90		90	90	90	90		
		実績値	83	64	58		62	59	56		48	52	52	35		
指標	成果指標 1 (単位/人/延)	計画値	5,400	5,400	5,400		5,400	5,400	5,400		5,400	5,400	5,400	5,400		
		実績値	6,572	6,891	6,056		7,725	5,333	5,866		5,213	6,293	7,514	2,017		
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)	ほぼ達成されている					ほぼ達成されている					ほぼ達成されている				
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)	上がっている					上がっている					上がっている				
	事業の効率性 (事業費に対する成果)	上がっている					上がっている					上がっている				
	総合評価						良好である					良好である				
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： H23年度から指導者の資格を新たに1名取得させ、平日の団体受け入れに重点を置いて艇庫業務を実施した。そのため、開放事業に幅が利くようになり利用者の増に繋がった。	自己分析： 平成24年度から土曜日の艇庫業務を取りやめたため、開放期間中の好天に恵まれたため、開放日数は減ったが逆に利用者は増えた。	自己分析： 平成24年度に比べ、開放期間中の天候が悪く利用日数が減ったため利用者も減った。	判断理由： 事業費に対する利用人数の割合は上がっている。艇庫事業は天候に左右されやすいため、一時的なものはあるが成果は上がっていると判断した。	自己分析： 平成25年度に比べ、団体による利用人数が増加した。	自己分析： 平成26年度に比べ、利用人数が減少したが、平成26年度は総合体育館改修工事に伴い対応職員を増やすことが可能であったため、例年よりも大規模団体を受け入れることが可能であったことに起因する。	自己分析： 平成27年度に比べ、団体による利用人数が増加した。	判断理由： 艇庫事業は天候に左右されやすいため、利用人数だけでは一概に判断できないが成果は上がっていると判断した。	自己分析： 悪天候による開放中止などが多く、開放日数、利用人数が減少した。	自己分析： 悪天候も多かったが、着実に艇庫の事業が市内外に浸透している。市外小学校の課外活動に利用されることも多くなり、利用者数の増加につながった。	自己分析： 市内外の小中学校を訪問し、利用に関するパンフレットを配布したことで、課外活用に利用されることが増加した。	自己分析： 新型コロナウイルス感染症対策のため、各種事業が中止となったことをはじめ、緊急事態宣言により艇庫の開放日も大幅に減少した。それに伴い、利用者も減少している。	判断理由： 天候に左右される事業が多いため、成果は一概に判断できないが、全体的には目標値を上回るが多い。また、職員が市内外の小中学校に呼びかけを行うなどの努力をしていることから着実に利用者を増やしていると判断した。		
今後の方向性	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続					現状のまま継続						現状のまま継続	
方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：利用者は天候に左右されるが、利用者に対応する人員の確保や機材等の整備が整えばさらに利用者は増えると予想される。それらの対応も視野に入れながら今後の利用を検討する必要がある。				H28： 利用者数の増減は天候の影響も大きいですが、利用を希望する団体のニーズは多く、対応する人員の確保や機材等の整備が整えばさらに利用者を増加させることは可能である。費用対効果を見極めて今後の対応を検討する必要がある。				H30： 利用者数は天候に作用されることが多く、年単位で評価することは難しいが、着実に市内外に艇庫の事業が浸透しつつある。学校の課外授業で利用されることが多いことから、障害者や高齢者の団体の受け入れを可能とするための設備を整えることで、さらに利用者の増加を見込める。							

## 第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

### 【PLAN】

#### 事務事業の目的と成果

事業名	少年スポーツ教室開催事業				事業期間	— 年度 ~ — 年度									所管課係	スポーツ振興課振興係	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画の位置付け	3-4-2	他に関連する基本事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
目的 (何のために実施するのか)	スポーツに接する場を増やし、スポーツに関する知識や技術を身につける場を提供する。 また、スポーツ活動を通して、基礎体力の向上、心身の健全育成をはかる。						手段 (どのような方法で実現するのか)		各競技連盟に、少年スポーツ教室の開催を委託。 教室は、4種目で、各種目10回開催する。								
対象 (誰・何を対象としているのか)	少年（スポーツ少年団も含む）						成果 (どのような効果が得られるのか)		多くの少年達がスポーツに接する場が増え、スポーツに関する知識や技術を身につけることができる。								
事業開始時の状況・これまでの経緯 (行事内容含む)	少年スポーツ教室は、5競技種目（軟式野球、柔道、サッカー、剣道、バスケットボール）の中から、毎年4種目を選択し、各種目10回スポーツ教室を各競技連盟に委託し開催している。																

### 【DO】

#### 実績

(単位：円)

	国	道	地方債	その他	一般財源	第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期 総合計			
						第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計		
投入された事業費の推移	費	計画額																			
		予算計上額																			
		実績額																			
	費	計画額																			
		予算計上額																			
		実績額																			
	費	計画額																			
		予算計上額																			
		実績額																			
	費	計画額																			
		予算計上額																			
		実績額																			
費	計画額																				
	予算計上額																				
	実績額																				
費	計画額	80,000	80,000	80,000	240,000	80,000	80,000	80,000	240,000	80,000	80,000	80,000	80,000	320,000	800,000						
	予算計上額	80,000	80,000	80,000	240,000	80,000	80,000	80,000	240,000	80,000	80,000	80,000	80,000	320,000	800,000						
	実績額	80,000	60,000	80,000	220,000	80,000	80,000	80,000	240,000	80,000	80,000	80,000	80,000	320,000	780,000						
費	計画額	80,000	80,000	80,000	240,000	80,000	80,000	80,000	240,000	80,000	80,000	80,000	80,000	320,000	800,000						
	予算計上額	80,000	80,000	80,000	240,000	80,000	80,000	80,000	240,000	80,000	80,000	80,000	80,000	320,000	800,000						
	実績額	80,000	60,000	80,000	220,000	80,000	80,000	80,000	240,000	80,000	80,000	80,000	80,000	320,000	780,000						
費	事業費予算の内容	スポーツ教室指導謝礼	スポーツ教室指導謝礼	スポーツ教室指導謝礼		スポーツ教室指導謝礼	スポーツ教室指導謝礼	スポーツ教室指導謝礼		スポーツ教室指導謝礼	スポーツ教室指導謝礼	スポーツ教室指導謝礼	スポーツ教室指導謝礼								
	前年度予算との比較 (増減理由)	前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額	前年度同額	前年度同額								
	実績との比較 (増減理由)	同額	1団体の活動が 休止したため減額	新たに1団体 (サッカー)が 加入したため増		同額	同額	同額		同額	同額	同額	新型コロナウイルス感染症のため中止とした競技団体があったため								

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：事業回数				指標の求め方：年間事業延回数								
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：参加人数				指標の求め方：年間参加延人数								
指標	活動指標 1 (単位/回/延)	計画値	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	
		実績値	43	45	50	50	50	55	55	55	62	62	62	
指標	成果指標 1 (単位/人/延)	計画値	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	
		実績値	1,166	1,145	1,286	1,507	1,422	1,341	1,501	1,477	1,576	1,544	1,544	
事業 評価 内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)	達成されている	達成されている	達成されている	ほぼ達成されている				ほぼ達成されている				ほぼ達成されている	
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)	少し上がっている	少し上がっている	上がっている	少し上がっている				上がっている				上がっている	
	事業の効率性 (事業費に対する成果)	少し上がっている	少し上がっている	上がっている	少し上がっている				上がっている				上がっている	
	総合評価				良好である				良好である				良好である	
今後の方向性	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：基本・基礎的なものから試合形式による練習まで幅広い教室内容で充実しているため、全道規模の大会等へ参加する機会が増えつつある。	自己分析：一団体の活動は休止したが、幅広い教室内容で充実しているため計画値より参加人数も増えてきている。	自己分析：H25年度からサッカー少年団が教室を実施することになり、事業回数及び参加人数も増えた。	判断理由：事業回数及び参加人数ともに計画値を超え、増加傾向にあることから判断した。	自己分析：事業回数は前年度と同じであるが、参加人数が増加している。	自己分析：事業回数、参加人数とも前年並みであった。	自己分析：事業回数、参加人数とも前年並みであった。	判断理由：事業回数及び参加人数ともに計画値を超えて継続されており、一定の成果をあげているものと判断している。	自己分析：事業回数、参加人数とも前年並みであった。	自己分析：事業回数、参加人数とも前年並みであった。	自己分析：事業回数、参加人数とも前年並みであった。	自己分析：コロナウイルス感染症対策を行いながら、例年通り実施ができた。	判断理由：スポーツ少年団の登録者はほぼ横ばい状態である中、事業回数及び参加人数ともに計画値を超えて継続されており、一定の成果をあげているものと判断している。
	今後の方向性	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続				現状のまま継続				現状のまま継続	
方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：スポーツ少年団員の知識や技術の向上はもとより、心身の健全育成が図られているため継続すべき事業と考える。				H28：スポーツ少年団員の知識や技術の向上はもとより、スポーツ活動の推進につながるものであり継続すべき事業と考える。				H30：スポーツ少年団員の知識や技術の向上はもとより、スポーツ活動の推進につながるものであり継続すべき事業と考える。					

## 第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

### 【PLAN】

#### 事務事業の目的と成果

事業名	スポーツ大会開催及び出場助成事業				事業期間	— 年度 ~ — 年度						所管課係	スポーツ振興課振興係
	事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画の位置付け	3-4-2	他に関連する基本事業	—	—	—		
目的 (何のために実施するのか)	道・管内事業の運営経費や全国大会等に出場する個人・団体の出場経費の一部を補助することにより、事業開催や大会出場等を奨励し、スポーツへの関心や参加意欲の向上を図り、スポーツの振興につなげる。					手段 (どのような方法で実現するのか)	地元開催大会助成（市又は教育委員会が共催もしくは後援する大会等であって、かつ、砂川市内のアマチュアスポーツ団体が開催するもの）、競技大会出場助成（全道大会・全国大会・義士サミット剣道大会の出場者）。						
対象 (誰・何を対象としているのか)	道・管内のスポーツ事業を共催又は主管して開催する体育団体及び個人。 全道・全国大会の出場者。					成果 (どのような効果が得られるのか)	地元開催の大会助成については、事業費を助成することにより、主催者及び参加者の負担を軽減し、内容の充実した事業を行うことができる。 大会出場に対する助成については、全道・全国大会出場者の負担を軽減することにより、スポーツ事業への参加を促進することができる。						
事業開始時の状況・これまでの経緯（行革内容含む）	スポーツ大会への出場、または大会の地元開催を促進するためにスポーツ振興補助金により助成を行ってきたが、行政改革により、助成内容を見直してきている。 平成17年度に大会出場補助率を2/3から1/3に下げたが、その一方で、平成19年度には、小中学校の部活動における選手、監督は、市外居住者も対象とした。 また、大会開催助成では、地元開催大会である、「7-MATCH」1Nすながわ少年サッカー大会の補助金を200千円から180千円に減額した。 特別枠である、剣道連盟大会出場助成については、水戸大会を打ち切りし、義士サミット剣道大会のみとした。												

### 【DO】

#### 実績

（単位：円）

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期総合計画		
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額			0				0					0	0	
		予算計上額				0			0						0	0
		実績額				0			0						0	0
	道費	計画額				0			0						0	0
		予算計上額				0			0						0	0
		実績額				0			0						0	0
	地方債	計画額				0			0						0	0
		予算計上額				0			0						0	0
		実績額				0			0						0	0
	その他	計画額				0			0						0	0
		予算計上額				0			0						0	0
		実績額				0			0						0	0
一般財源	計画額	650,000	650,000	650,000	1,950,000	1,196,000	1,196,000	1,196,000	3,588,000	1,251,000	1,251,000	1,251,000	1,251,000	5,004,000	10,542,000	
	予算計上額	650,000	650,000	650,000	1,950,000	1,196,000	1,196,000	1,251,000	3,643,000	1,277,000	1,233,000	1,179,000	1,327,000	5,016,000	10,609,000	
	実績額	1,764,500	1,423,600	1,801,600	4,989,700	1,139,300	1,042,800	854,400	3,036,500	961,300	1,064,300	1,269,400	329,900	3,624,900	11,651,100	
事業費合計	計画額	650,000	650,000	650,000	1,950,000	1,196,000	1,196,000	1,196,000	3,588,000	1,251,000	1,251,000	1,251,000	1,251,000	5,004,000	10,542,000	
	予算計上額	650,000	650,000	650,000	1,950,000	1,196,000	1,196,000	1,251,000	3,643,000	1,277,000	1,233,000	1,179,000	1,327,000	5,016,000	10,609,000	
	実績額	1,764,500	1,423,600	1,801,600	4,989,700	1,139,300	1,042,800	854,400	3,036,500	961,300	1,064,300	1,269,400	329,900	3,624,900	11,651,100	
事業費予算の内容		地元開催大会助成及び全道大会出場助成	地元開催大会助成及び全道大会出場助成	地元開催大会助成及び全道大会出場助成		地元開催大会助成及び全道大会出場助成	地元開催大会助成及び全道大会出場助成	地元開催大会助成及び全道大会出場助成		地元開催大会助成及び全道大会出場助成	地元開催大会助成及び全道大会出場助成	地元開催大会助成及び全道大会出場助成	地元開催大会助成及び全道大会出場助成			
	前年度予算との比較 (増減理由)	前年度同額	前年度同額	前年度同額		ここ数年大会に出場する件数(特に団体)が増えたため	前年度同額	最近の補助実績から算出		最近の補助実績から算出	最近の補助実績から算出	最近の補助実績から算出	最近の補助実績から算出			
	実績との比較 (増減理由)	全道・全道大会に出場した個人・団体の増3月補正1,058千円	全道・全道大会に出場した個人・団体の増3月補正944千円	全道・全道大会に出場した個人・団体の増3月補正1,300千円		補助する個人・団体の増を想定し3月補正210千円したが、結果的に大会参加が無かった。	補助する個人・団体の減	補助対象となった個人・団体の減		補助対象となった個人・団体の減	補助対象となった個人・団体の減	補助対象となった個人・団体の増。全国大会の増により3月補正により対応した。	新型コロナウイルス感染症のため中止とした競技団体があったため			

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：補助金額				指標の求め方：地元開催大会助成及び全国・全道大会出場助成										
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：大会等出場者人数				指標の求め方：大会等出場者延人数										
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/円)	計画値	650,000	650,000	650,000	650,000	650,000	650,000	650,000	650,000	650,000	650,000			
		実績値	1,764,500	1,423,600	1,801,600		1,139,300	1,042,800	854,400		961,300	1,064,300	1,269,400	329,900		
	成果指標 1 (単位/人/延)	計画値	50	50	50		50	50	50		50	50	50	50		
		実績値	94	125	106		67	57	42		56	84	88	46		
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)	達成されている	達成されている	達成されている	達成されている					達成されている					達成されている
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)	上がっている	上がっている	上がっている	上がっている					上がっている					上がっている
		事業の効率性 (事業費に対する成果)	上がっている	上がっている	上がっている	上がっている					上がっている					上がっている
		総合評価				良好である					良好である					良好である
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： スポーツへの関心の高さと同時に技術力や体力の向上が図られていることが、大会等に出場する個人や団体が増えてきている要因の一つと思われる。	自己分析： スポーツへの関心の高さと同時に技術力や体力の向上が図られ、大会等に出場する個人や団体が増えてきている。	自己分析： スポーツへの関心の高さと同時に技術力や体力の向上が図られ、大会等に出場する個人や団体が増えてきている。	判断理由： 年々、技術力の向上や体力の強化が図られ、全道や全国大会への出場機会が増えてきていることから判断した。	自己分析： スポーツへの関心の高さと同時に技術力や体力の向上が図られ、大会等に出場する個人や団体が増えてきている。	自己分析： スポーツへの関心の高さと同時に技術力や体力の向上が図られ、大会等に出場する個人や団体が増えてきている。	自己分析： 競技レベルの高い全道・全国大会参加への支援により、競技力の向上やスポーツへの関心、参加意欲向上が図られている。	判断理由： 全道・全国大会への出場機会が毎年一定程度あり、事業開催や大会出場等の奨励により、スポーツへの関心や参加意欲の向上が図られている。	自己分析： 競技レベルの高い全道・全国大会参加への支援により、競技力の向上やスポーツへの関心、参加意欲向上が図られている。	自己分析： 今年度は団体競技の申請が多かったため、延べ人数が増加している。競技レベルの高い全道・全国大会参加への支援により、競技力の向上やスポーツへの関心、参加意欲向上が図られている。	自己分析： コロナウイルスや台風の関係で中止となった大会があったため、延べ人数は横ばいであるが、開催されていれば実績額、延べ人数は更に増加していた。次年度以降も事業費の増加が見込まれ、助成事業により競技レベルの向上やスポーツへの関心、参加意欲向上が図られている。	自己分析： 新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの大会が中止となったため助成額が減少した。	判断理由： 全道・全国大会への出場機会が毎年一定程度あり、事業開催や大会出場等の奨励により、スポーツへの関心や参加意欲の向上が図られている。実績値も計画値を上回っていることから、市内のスポーツ振興に貢献していると判断した。		
		今後の方向性	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続				現状のまま継続						現状のまま継続
方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：少年期における体力づくりや技術力の向上を図ることは非常に大切であり、さらに一層それらを伸ばすためには学校や家庭だけではなく行政（財政）支援が必要であることから継続すべき事業であると考える。				H28：スポーツ大会の開催奨励や全道全国大会出場への助成により、スポーツへの関心や参加意欲の向上が図られており、継続すべき事業と考える。				H30：スポーツ大会の開催奨励や全道全国大会出場への助成により、スポーツへの関心や参加意欲の向上が図られており、継続すべき事業と考える。							

## 第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

### 【PLAN】

#### 事務事業の目的と成果

事業名	全道中学生剣道錬成大会交付金事業				事業期間	平成 2 年度 ～ ー 年度					所管課係	スポーツ振興課振興係	
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画の位置付け	3-4-2	他に関連する基本事業	ー	ー	ー	ー	ー	ー
目的 (何のために実施するのか)	はまなす国体を記念して、砂川市で開催されている北海道中学生剣道大会に対する経費補助をすることにより、北海道の中学生剣士が一堂に会し技と心を競い合いながら友情と交流を深める機会を提供し、青少年の健全育成を図る。					手段 (どのような方法で実現するのか)		大会の運営を手伝うとともに、開催経費の一部を補助する。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	大会参加者					成果 (どのような効果が得られるのか)		北海道中学生剣道錬成大会を円滑に開催することができ、多くの北海道の中学生剣士が一堂に会し技と心を競い合いながら友情と交流を深める機会を拡大する。					
事業開始時の状況・これまでの経緯 (行革内容含む)	平成元年に開催された「はまなす国体剣道大会」を記念し、翌年から実施している。行革改革により平成20年度から10%削減されている。												

### 【DO】

#### 実績

(単位: 円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期 総合 計画 計		
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計	
投入 され た 事 業 費 の 推 移	国費	計画額			0				0					0	0	
		予算計上額			0				0					0	0	
		実績額			0				0					0	0	
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
一般財源	計画額	632,000	632,000	632,000	1,896,000	632,000	632,000	632,000	1,896,000	632,000	632,000	632,000	632,000	2,528,000	6,320,000	
	予算計上額	632,000	632,000	632,000	1,896,000	632,000	632,000	632,000	1,896,000	632,000	632,000	632,000	632,000	2,528,000	6,320,000	
	実績額	632,000	632,000	632,000	1,896,000	632,000	632,000	632,000	1,896,000	632,000	0	632,000	0	1,264,000	5,056,000	
事業費合計	計画額	632,000	632,000	632,000	1,896,000	632,000	632,000	632,000	1,896,000	632,000	632,000	632,000	632,000	2,528,000	6,320,000	
	予算計上額	632,000	632,000	632,000	1,896,000	632,000	632,000	632,000	1,896,000	632,000	632,000	632,000	632,000	2,528,000	6,320,000	
	実績額	632,000	632,000	632,000	1,896,000	632,000	632,000	632,000	1,896,000	632,000	0	632,000	0	1,264,000	5,056,000	
事業費予算の内容		交付金	交付金	交付金		交付金	交付金	交付金		交付金	交付金	交付金	交付金			
	前年度予算との比較 (増減理由)	前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額	前年度同額	前年度同額			
	実績との比較 (増減理由)	同額	同額	同額		同額	同額	同額		同額	地震のため、大会中止となったため減	同額	新型コロナウイルス感染症のため中止とした競技団体があったため			

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：補助金額	指標の求め方：北海道中学生剣道錬成大会補助
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：参加者数	指標の求め方：チーム数×6人

指標	活動指標 1 (単位/円)	計画値	632,000	632,000	632,000		632,000	632,000	632,000		632,000	632,000	632,000	632,000	
		実績値	632,000	632,000	632,000		632,000	632,000	632,000		632,000	0	632,000	0	
成果指標 1 (単位/人)	計画値	900	900	900		900	900	900		900	900	900	900		
	実績値	850	989	898		876	881	818		800	0	755	0		
事業 評価 内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)	達成されている	達成されている	達成されている	達成されている					達成されている				達成されている	
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)	上がっている	上がっている	変わらない	上がっている					上がっている				変わらない	
	事業の効率性 (事業費に対する成果)	変わらない	変わらない	変わらない	変わらない					上がっている				変わらない	
	総合評価				良好である					良好である				良好である	
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 平成2年から地道に大会を開催した結果、知名度も上がり全道規模の大会として位置づけられている。また、全道から集まった中学生剣士の日頃の練習の成果を発揮するとともに、技の競い合いと心の鍛錬に効果があると思われる。	自己分析： 平成2年から地道に大会を開催した結果、知名度も上がり全道規模の大会として位置づけられている。また、全道から集まった中学生剣士の日頃の練習の成果を発揮するとともに、技の競い合いと心の鍛錬に効果があると思われる。	自己分析： 平成2年から地道に大会を開催した結果、知名度も上がり全道規模の大会として位置づけられている。また、全道から集まった中学生剣士の日頃の練習の成果を発揮するとともに、技の競い合いと心の鍛錬に効果があると思われる。	判断理由： 定額の補助金の割に参加者数が伸びていることから判断した。	自己分析： 平成2年から地道に大会を開催した結果、知名度も上がり全道規模の大会として位置づけられている。また、全道から集まった中学生剣士の日頃の練習の成果を発揮するとともに、技の競い合いと心の鍛錬に効果があると思われる。	自己分析： 平成2年から地道に大会を開催した結果、知名度も上がり全道規模の大会として位置づけられている。また、全道から集まった中学生剣士の日頃の練習の成果を発揮するとともに、技の競い合いと心の鍛錬に効果があると思われる。	自己分析： 平成2年から地道に大会を開催した結果、知名度も上がり全道規模の大会として位置づけられている。また、全道から集まった中学生剣士の日頃の練習の成果を発揮するとともに、技の競い合いと心の鍛錬に効果があると思われる。	判断理由： 毎年多くの参加者があり、中学生剣士の全道大会として定着している。	自己分析： 平成2年から地道に大会を開催した結果、知名度も上がり全道規模の大会として位置づけられている。また、全道から集まった中学生剣士の日頃の練習の成果を発揮するとともに、技の競い合いと心の鍛錬に効果があると思われる。	自己分析： 毎年9月に開催されているが、9月6日に発生した北海道胆振東部地震のため、大会は中止となった。	自己分析： 平成2年から地道に大会を開催した結果、知名度も上がり全道規模の大会として位置づけられており、全道から中学生剣士が集まることで、砂川市のPRにも効果を上げている。規模が大きくなるにつれ、人員不足や駐車場のスペースも足りなくなるなどの課題も見受けられた。	自己分析： 新型コロナウイルス感染症の影響のため中止となった。	判断理由： 参加者数はほぼ横ばい状態であるが、事業の規模が大きく、毎年多くの参加者があり、中学生剣士の全道大会として定着している。	
今後の方向性	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続					現状のまま継続				現状のまま継続		
方向性の判断理由改善、改革の内容(H25、H28、H30)	H25：全道から集まった中学生剣士の日頃の練習の成果を発揮するとともに、技の競い合いと心の鍛錬に効果が上がっていることを踏まえて継続すべき事業と考える。				H28：毎年多くの参加者があり、中学生剣士の全道大会として定着していることから、継続すべき事業と考える。				H30：毎年多くの参加者があり、中学生剣士の全道大会として定着していることから、継続すべき事業と考える。						



## 第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

### 【PLAN】

#### 事務事業の目的と成果

事業名	市民体育祭交付金事業				事業期間	昭和 42 年度 ～ 年度				所管課係	スポーツ振興課振興係	
事業性質区分	新規・継続	新規	建設・建設外	建設外	第6期総合計画の位置付け	3-4-2	他に関連する基本事業	—	—	—	—	
目的 (何のために実施するのか)	市民皆スポーツを目指し、市民のためのスポーツ活動を積極的に奨励するとともに、健康増進を図ることを目的とする。						手段 (どのような方法で実現するのか)		市民体育祭を実施したスポーツ団体（登録数22団体）に実行委員会（体協）を通じて開催経費の一部として1団体当たり27,000円を交付する。			
対象 (誰・何を対象としているのか)	市民体育祭への参加者。						成果 (どのような効果が得られるのか)		市民の健康及び体力づくりが図られる。			
事業開始時の状況・これまでの経緯 (行革内容含む)	平成25年度までは指定管理者の事業として実施してきたが、平成26年度からスポーツ振興課の事業に変更した。											

### 【DO】

#### 実績

(単位：円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期 総合計画 合計		
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計	
投入 され た 事 業 費 の 推 移	国 費	計画額			0				0					0	0	
		予算計上額				0			0						0	0
		実績額				0			0						0	0
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	そ の 他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
一 般 財 源	計画額				0	594,000	594,000	594,000	1,782,000	567,000	567,000	567,000	567,000	2,268,000	4,050,000	
	予算計上額				0	594,000	594,000	567,000	1,755,000	567,000	567,000	567,000	567,000	2,268,000	4,023,000	
	実績額				0	594,000	459,000	486,000	1,539,000	513,000	513,000	486,000	324,000	1,836,000	3,375,000	
事 業 費 合 計	計画額	0	0	0	0	594,000	594,000	594,000	1,782,000	567,000	567,000	567,000	567,000	2,268,000	4,050,000	
	予算計上額	0	0	0	0	594,000	594,000	567,000	1,755,000	567,000	567,000	567,000	567,000	2,268,000	4,023,000	
	実績額	0	0	0	0	594,000	459,000	486,000	1,539,000	513,000	513,000	486,000	324,000	1,836,000	3,375,000	
事業費予算の内容					交付金	交付金	交付金		交付金	交付金	交付金	交付金				
前年度予算との比較 (増減理由)					平成26年度より指定 管理者主催事業から 市主催事業へ変更し たため。	同額		実施競技団体の 減		同額	同額	同額	同額			
実績との比較 (増減理由)					同額	大会開催を中止 した競技団体が あったため。	大会を開催しな い競技団体が あったため。		大会を開催しな い競技団体が あったため。	大会を開催しな い競技団体が あったため。	大会を開催しな い競技団体が あったため。	大会を開催しな い競技団体が あったため。	新型コロナウイルス 感染症のため中 止とした競技団 体があったため			

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：交付金支出額				指標の求め方：								
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：参加者数				指標の求め方：								
指標	活動指標 1 (単位/千円)	計画値				594,000	594,000	594,000		594,000	567,000	567,000	567,000	
		実績値				594,000	459,000	486,000		513,000	513,000	486,000	324,000	
指標	成果指標 1 (単位/人/延)	計画値				1,400	1,400	1,400		1,400	1,400	1,400	1,400	
		実績値				1,032	1,012	827		943	865	967	632	
事業 評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)													ほぼ達成されている
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)													変わらない
	事業の効率性 (事業費に対する成果)													変わらない
	総合評価													普通である
評価内容	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析： 様々な競技で催し が実施されており、 市民のスポーツ活動 奨励、健康増進に 寄与している。	自己分析： 様々な競技で催し が実施されており、 市民のスポーツ活動 奨励、健康増進に 寄与している。	自己分析： 様々な競技で催し が実施されており、 市民のスポーツ活動 奨励、健康増進に 寄与している。	判断理由： 毎年恒例のスポーツ 行事として定着し、 各競技団体が主体と なって大会等を開 催している。 様々な競技で実施 されており、市民の スポーツ活動奨励、 健康増進に寄与し ている	自己分析： 様々な競技で催し が実施されており、 市民のスポーツ活動 奨励、健康増進に 寄与している。	自己分析： 様々な競技で催し が実施されており、 市民のスポーツ活動 奨励、健康増進に 寄与している。	自己分析： 様々な競技で催し が実施されており、 市民のスポーツ活動 奨励、健康増進に 寄与している。	自己分析： 新型コロナウイルス 感染症の影響を受け、 中止とした競技団 体があったため、例 年比に比べて参加 者は減少している が、市民のスポーツ 活動奨励、健康増 進のため、今後も 継続して支援が必 要だと考える。	判断理由： 毎年恒例のスポーツ 行事として定着し、 各競技団体が主体 となって大会等を 開催している。 様々な競技で実施 されており、市民の スポーツ活動奨励、 健康増進に寄与し ているが、参加者 数はほぼ横ばい状 態であり、競技団 体への働きかけを 行なうなどして、 より多くの参加が 得られるよう取り 進める。
今後の方向性		現状のまま継続	現状のまま継続						現状のまま継続					手段の見直し
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (H25、H28、H30)		H25：				H28： 毎年恒例のスポーツ行事として定着し、各競技団体が主体となって大会等を開催しており、市民のスポーツ活動奨励、健康増進に寄与している。実施を中止している競技団体への働きかけを行ない、より多くの参加が得られるよう取り進める。				H30： 毎年恒例のスポーツ行事として定着し、各競技団体が主体となって大会等を開催しており、市民のスポーツ活動奨励、健康増進に寄与している。実施を中止している競技団体への働きかけを行ない、より多くの参加が得られるよう取り進める。				